

緊急時の連絡先

消防(火災・救急・救助)	警察(事件・事故)	海上保安庁(海の事件・事故)
119	110	118

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
宗像市役所(代表)	0940-36-1121	宗像地区消防本部・宗像消防署	0940-36-2425
災害対策本部	0940-36-5050	赤間出張所	0940-32-6837
福岡県北九州県土整備事務所(宗像支所)	0940-36-2005	津屋崎・玄海出張所	0940-62-3815
宗像警察署	0940-36-0110	大島分遣所	0940-72-2310
大島駐在所	0940-72-2110	福岡管区気象台	092-725-3605
九州電力送配電 福岡配電事業所 (停電情報自動応答)	0120-426-305	NTT(電話サービスの故障など)	113または 0120-444-113

災害用伝言ダイヤル

災害時の家族などへの連絡にご利用ください。

171 にダイヤルし、音声ガイドにしたがう

録音の場合① → 被災地の人はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の人の電話番号を市外局番からダイヤル(市外局番) **0940-□□-□□□□** → 伝言を入れる(30秒以内)

再生の場合② → 伝言を聞く



詳しくは、<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

※伝言の保存期間は録音してから2日(48時間)です。保存期間を経過した時点で自動的に消去されます。

逃げなきゃコール

スマートフォンアプリなどの地域登録機能を使って、離れた場所に暮らす家族などの大切な人が住む地域を登録して、地域に警戒情報の通知が出された際に、直接電話をかけて避難行動を呼びかける取り組みです。あなたの「逃げて」が大切な人を災害から守ることにつながります。

逃げなきゃコール 検索



地域の防災力を高めるために重要な3つの「助」

災害による被害を最小限に抑えるためには「自助」、「共助」、「公助」の連携が不可欠です。特に、「自助」(自分の命は自分で守る)、「共助」(自分たちの地域は自分たちで守る)という考え方が重要になります。



避難スイッチを決めましょう

身近に起こる異変や情報をもとに避難するきっかけ「避難スイッチ」を決めておきましょう。家族や近隣の人の命を助けるきっかけにもなります。

- 例) ・警戒レベル3が発令されたら
・地鳴りのような音がしたら
・普段は水が流れない水路があふれたら など

宗像市

MUNAKATA CITY HAZARD MAP

保存版

防災マップ

目次

災害を知る

- 1 宗像市の地形特性と災害特性 1
- 2 過去の災害について 1
- 3 災害を意識する 2
 - 3-1 洪水・内水発生の仕組みや特徴 2
 - 3-2 土砂災害発生の仕組みや特徴 3
 - 3-3 高潮発生の仕組みや特徴 4
 - 3-4 津波発生の仕組みや特徴 4

リスクを知る

- 4 自分の居場所の危険度を知る 5
 - 4-1 ハザードマップの見方 6
 - 4-2 洪水・土砂災害ハザードマップ 7
 - 4-3 高潮ハザードマップ 45
 - 4-4 津波ハザードマップ 48
 - 4-5 地震ハザードマップ(揺れやすさマップ) 51

- 5 避難を考える 53
 - 5-1 大雨・台風時のとるべき避難行動 53
 - 5-2 地震発生時のとるべき避難行動 54
 - 5-3 避難先の選定 55
 - 5-4 避難に備えた事前の心構え 57

対応を知る

- 6 行動に移す(避難のきっかけ) 61
 - 6-1 避難を促す情報 61
 - 6-2 マイ・タイムライン 62
 - 6-3 避難情報や防災気象情報の伝達方法 63
 - 6-4 防災気象情報の入手先 63
- 7 個人に応じた避難行動・避難生活 65
 - 7-1 避難時の心得 65
 - 7-2 避難生活の心得 66